

教育目標 学校像 児童像		「自ら考え 思いやりの心もち たくましく生きる児童の育成」 ○静かな学校      ○伸びゆく学校      ○明るい学校 ○考える子      ○やさしい子      ○たくましい子				
経営ビジョン		◎なりたい自分とみんなのために 「前進」「考動」寺小っ子				
目 標		手段・ゴールイメージ	学校の自己評価(成果・課題)	自己 評価	委員 評価	学校運営協議会委員評価
重点 目標 1	確かな学力 の向上	1 「ひなたの学び」を意識した授業の実践 2 ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業実践 3 年間指導計画を見直し、具体的なカリキュラムマネジメントを行った授業の推進	○美々津中学校区で授業力向上プロジェクトに取り組み、授業における指導者自身の課題の解決及び「ひなたの学び」を意識した授業を実践してきた。 ○「分かる・できる」授業づくりや学習習慣の定着に関する数値が、昨年度よりも向上した。特に教職員の数値が上がっている。次年度以降も、取組を継続・改善し、児童の学力向上につなげたい。 ○ICT 活用については、「ロイノート」「タブドリ Live」を中心に、個別最適な学び・協働的な学びを推進することができた。 ○今年度も読み聞かせや図書室の環境整備、読書カードの見直しなど、読書活動につながる取組を充実させてきた。その結果、日向市図書部会の調査によると、本校児童の読書量は他の学校と比較しても多いことが分かった。今後も、読書の量も質も向上するような取組を継続する。	4	4	○先生方の課題が次々に増えていくため、児童の学力向上につなげていくことが最終目標になっている先生方のご苦労が目に見えます。読書カードの見直しにしても、先生方のアイデアに感謝します。 ○授業にICTを活用されることで、現代の子どもたちは、学習に取り組む意欲・関心も高まり、一人一人の課題もわかりやすいのではないかと思います。 ○世の中が変わり、昔のような学校運営が難しくなっているため、先生方も大変でしょうが、子どもたちは素直で、毎月の読み聞かせも聞いてくれる態度も良いし、受け答えもとても良いと思っています。 ○平日頃から授業力向上プロジェクト等の研修やその後の取組についても継続、改善を重ねられ、児童の学力向上及び職員個人の指導力向上に努められている結果の表れです。毎日早朝にもかかわらず、出勤されている姿を見る時に、結果として表れることを願わずにはいられないです。 ○児童の読書量が多い事は素晴らしいと思います。ICTの活用は、パソコンの不調とかはありえるので、対応が課題かなと思います。
		1 心理的安全性の4つの因子(話・助・挑む・新)を意識した考え方の共通理解 2 心理的安全性を生み出す3つの言葉かけを意識した学級経営の推進 3 児童が自身の行動を振り返りながら、自らを磨ける学級活動・特別活動の設定	○悩みアンケートを毎月実施し、教育相談の時間では、児童に寄り添うように配慮した。特に、美々津小との合併に対する悩みにも随時対応できるようにした。 ○心理的安全性を意識した学級経営に関する研修を実施するとともに、毎月自分の学級経営を振り返るようにした。 ○あいさつ・返事・整理整頓に関する数値が向上している。特にあいさつに関しては、どの学年も元気にできている。 ●いじめ・不登校に関しては、早期発見及び児童の心情に寄り添いながらの解決に努めてきた。解決に至っていない事例もあるが、真摯に向き合うとともに、今後も問題の早期発見及び全職員での解決に努めていきたい。	3	3.3	○子どもたちの心に寄り添う先生方一人一人の配慮に感謝します。 ○メンタル面やデリケートな問題については、先生方の業務も大変であることから、カウンセラーだけでなく、もっとフリーな方がいらっしゃり、個別面談をすることが必要だと思います。話し相手をより身近にする、頼れる(守ってくれる)人がいて逃げ場を作ることが本当に大切な時代だと感じます。言って聞かせる時代ではなくなっているため、先生方もゆとりをもって、子どもたちも安心して通える環境づくりができると良いと思います。 ○あいさつは、どの子もしっかりとできています。いじめに関しては、学校に毎日いるのではないのでわかりませんが、ひどいというような話も聞かないので先生方の指導も良いのではないのでしょうか。あいさつは、学校だけでなく、まず家庭からだと思うので、親がしっかりとお手本を見せてくれると良いでしょう。 ○児童の風景等を見つめています。現在は本当に落ち着いていますね。「様子がおかしいなあ」「何か不安が?」と思わせることがなく嬉しいです。友達同士で会話しながら登校している風景はいいですよ。 ○これから合併に向かってさまざまな問題があると思いますので、大変ですが頑張ってください。

<p>重点目標 3</p>	<p>たくましい体の育成</p>	<p>1 自らが活動を選択し、高めようとする学習内容や場の設定を工夫した体育科学学習の推進 2 生活を振り返るための日常的なチェックや称賛を推進し、学校・家庭の双方で行う健康教育の推進</p>	<p>○生活リズムや運動習慣に関しては、昨年同様、児童や保護者から肯定的な回答がほとんどであった。持久走では、自分の目標タイムを設定し、それを上回ることができるように練習に取り組んだ。 ○メディアコントロールについても美々津中学校区で計画通りに取り組んできた。アンケートの結果、大幅ではないが、改善につながっている。 ○今年度は、美々津中学校区合同で引き渡し訓練を実施した。大きな混乱もなく実施することができた。 ●歯の治療等が終わっていない児童もおり、家庭との連携を強化する必要がある。</p>	<p>3</p>	<p>3.3</p>	<p>○生活リズムは、身体を作り上げる大切な部分なので、保護者との連携が必須だと思います。家庭に協力してもらうことは、全ての面において課題です。(この項目は、家庭の協力が大事!!) ○子どもたちのために、保護者にも関心をもってもらえる行事を取り入れてもらってありがたいです ○食べる事が体作りの一番だと思います。そのためには、歯が大切です。虫歯のない健康な丈夫な歯、親子での歯みがきタイムも良いかもしれません。早寝・早起き・朝ごはんをしっかり和根本からやっていくのも大事だと思います。 ○美々津中学校区での合同引き渡し訓練の実施について、今後に残された課題があれば知りたいです。今後の学校再編に当たっての重要な取り組みになると思います。 ○児童数が少ないながらも、それぞれ工夫しながら運動や遊びを楽しんでいる様子が微笑ましかったです。</p>
<p>重点目標 4</p>	<p>地域との連携</p>	<p>1 地域コーディネーターの定期訪問による学習に協力できる人材の発掘 2 キャリア教育支援センター等との連携による年間指導計画の改善 3 よのなか先生を意識した年間指導計画の設定・実践・見直し</p>	<p>○地域コーディネーターの尽力で、児童の学習に様々な地域の方の協力を得ることができた。また、地域の素材をいかした体験学習を実施することができた。 ○キャリア教育支援センターと連携して、日向市が推進する「よのなか先生」の授業を各学年で実施した。また、職員研修として、マナー講座を実施した。 ●コミュニティスクールのシステム自体を理解できていない職員も多いので、研修を実施すること、また学校運営委員の方と職員による意見交換会も実施したい。 ●美々津小学校の編入に合わせて、行事等の年間指導計画を作成する必要がある。その際、美々津中学校とも連携し、小中9年間を意識した計画を作成することが大切である。</p>	<p>3</p>	<p>3.8</p>	<p>○地域の一人として協力できることは、これからも前向きに取り組んでいきたいと思えます。一人一人の子どもたちのことを考えたら、保護者の方々も子どもファーストで物事を考えてほしいです。 ○各々の行事や活動を通し、保護者や地域との連携はとれているように感じます。 ○地域コーディネーターとまわりとのつながりが良い寺迫なので、地域の方も協力的です。子どもたちも小さい頃から知っているのが楽しみです。今後、美々津小と寺迫小の父兄・子どもたちが仲良くやって、中学校で一つになれるよう、頑張っていたきたいと思います。 ○学校から配られる「学校だより」や「広報でらさこ」は、地域に住んでいて学校のことを知るのに嬉しいとの評価を受けています。今後も期待しているとの声を聞きます。 ○以前は、学校運営協議会を学校訪問、授業参観等と一緒に行っていただけだったので、学校運営協議会自体を理解できていないのも無理はないと思えます。 ○運動会や地域イベント等で児童の活躍の場もあり、連携はすごくすごくとれていると感じました。</p>